

議員定数等検討特別委員会（全体会）まとめ

日時：令和8年5月12日（火）

午前10時から午前11時30分

場所：議会棟 全員協議会室

班	構成議員
A班	◎中牧盛登 ○一本木秀章 堀 堅一 中村直人 大竹真千子
B班	◎大和幸久 ○太田昭司 栗林陽一 小澤 悟 山本みゆき
C班	◎二條孝夫 ○宮田一男 西澤和保 傳刀 健 高橋 正

◎班長：進行 ○副班長：発表者

1. 委員会のあり方

班	意 見
A班	・2委員会で継続がよいのでは。 ・2委員会 議論を尽くすことを重視すると現在の人数ぐらいがちょうど良いと思う。7名 ・常任委員会は、二つが良い。委員数は、最低6～7名必要 ・1委員会 8名は必要なのでは。 ・委員会は1つ 10名 新人議員も最初から全て理解できるようになる。全員参加ができると、多様な意見を集められる。
B班	・常任委員会は、現状維持。 ・常任委員会は、2つ 各委員は、7～8名 複数所属はなし ・現状でよい。 ・委員会は、2つが良いと考えている。人数は、今までと同じ8名で良い。 ・議員力を高め、しっかり行政と対抗できる力をつける。 ・本来なら3委員会 1委員会 議員は7名は必要。 ・審査や委員会代表質問等、質：役割の向上が求められる。
C班	・常任委員会の強化 ・常任委員会は、2つ 委員数は7名とし、委員長も議決権を得る。 ・議長は、委員会オブザーバーとする。 (定数によっては、監査委員も) ・常任委員会数 現状2委員会 定数は、現状どおり各8名。 ・市の施策、事業に関する特別委員会は、設けず常任委員会で調査等すべき。 ・常任委員会2つ必要 委員数は7・8名

2. 議員定数

班	意 見
A 班	・ 資料から近似自治体平均 16 名 ・ 2 委員会を死守の上、7～8 名（1 委員会）で 14～16 名 ・ 定数 14 名 2 常任委員会 各 7 名 ・ 1 委員会 7～8 名 定数 14～16 名 ・ 選ばれし 10 名
B 班	・ 現状維持 一旦減らすとなかなか元に戻すことができない。 ・ 議員定数は、維持すべき 削減は、一人当たりの負担が重くなる。市域の広さも ・ 定数は、16 名でも 2～3 万人の市では、18 人くらいが適正とされている。大町は、すでに 16 人で少ない。住民の聞くため、簡単に定数削減は、避けるべき。 ・ 女性や若手の議員が増えることが、必要である。現状維持でよい。 ・ 慎重な議論が必要。 ・ 現状維持（本来は多い方がよい） ・ 人口減少を見据えて、減らすことも増やすことも考えていかなければならない。
C 班	・ 議員の欠員が出ている。選挙にすべく議員定数を減らすべき。 ・ 14・15 人が良い。 15 人の場合：議長を除く 14 人で 2 委員会 各委員 7 名 14 人の場合：2 委員会 各委員 7 名 ・ 減らすべき 1 名減 人口が 25,000 人を切る中では、減らさざるを得ない。 ・ 現状維持（16 名） ・ 現状維持 類似団体を見る中で、企業会計の審査において、差があることを知った。 ・ 自治体病院がある中で、単に人口減少で、減らすことが適当であるとは思わない。 ・ 本当は、増やしたいが、市の現状を思えば現数で仕方ない。

3. 報酬・政務活動費

班	意 見
A 班	・ 報酬は、現状維持で可 ・ 報酬は、現状維持 ・ 報酬は、現状維持 ・ 報酬は、500～600万円、定数 6 減 ・ 政務活動費は、1 2 か月で割れる費用とする。最低月額5,000円×12月 ・ 政務活動費は、年額 6 万円 ・ 政務活動費は、月 3～4 万円（近似自治体平均） ・ 政務活動費は、0 円
B 班	・ 報酬は現状（今後議論が必要。そして、市民の理解が必要。） ・ 報酬は、増やすべき 生活が保障される額（年額800万円）子育てできる報酬に ・ 報酬を増やすべきだと思うが、増やすためには、議員が何を行っているか、市民に伝える努力が必要。 ・ 報酬は、現状維持 ・ 子育てできる報酬を補償する。まず、報酬の確保 ・ 政務活動費は、現状でも良いが増やすなら何に使ったのかを市民に伝える手段を考える。 ・ 政務活動費は上げる。 ・ 政務活動費は、上げないと全く足りない。 ・ 政務活動費 月額 3 万円にすべき 現状自己負担である。
C 班	・ 報酬は、現状維持 ・ 今後のなり手不足に繋がらないためにも増やすことが必要。 ・ 議会・委員会活動の露出が少ないままなら報酬は、上げられない。または、議会への関心を高めるためにも、報酬をあげるということもありだと思う。 ・ 報酬を増やすか、政務活動費を増やすか、適正に判断をすることが必要と考える中では、どちらも増やすべきと考える。 ・ 報酬・政務活動費とも大幅に増やすべき（やる気を出させる。） ・ 政務活動費は、増やすべき。 ・ 政務活動費は、少なすぎる。活動ができない。上げるなら効果を開示すべき。 ・ 厚生年金を掛けてほしい。